

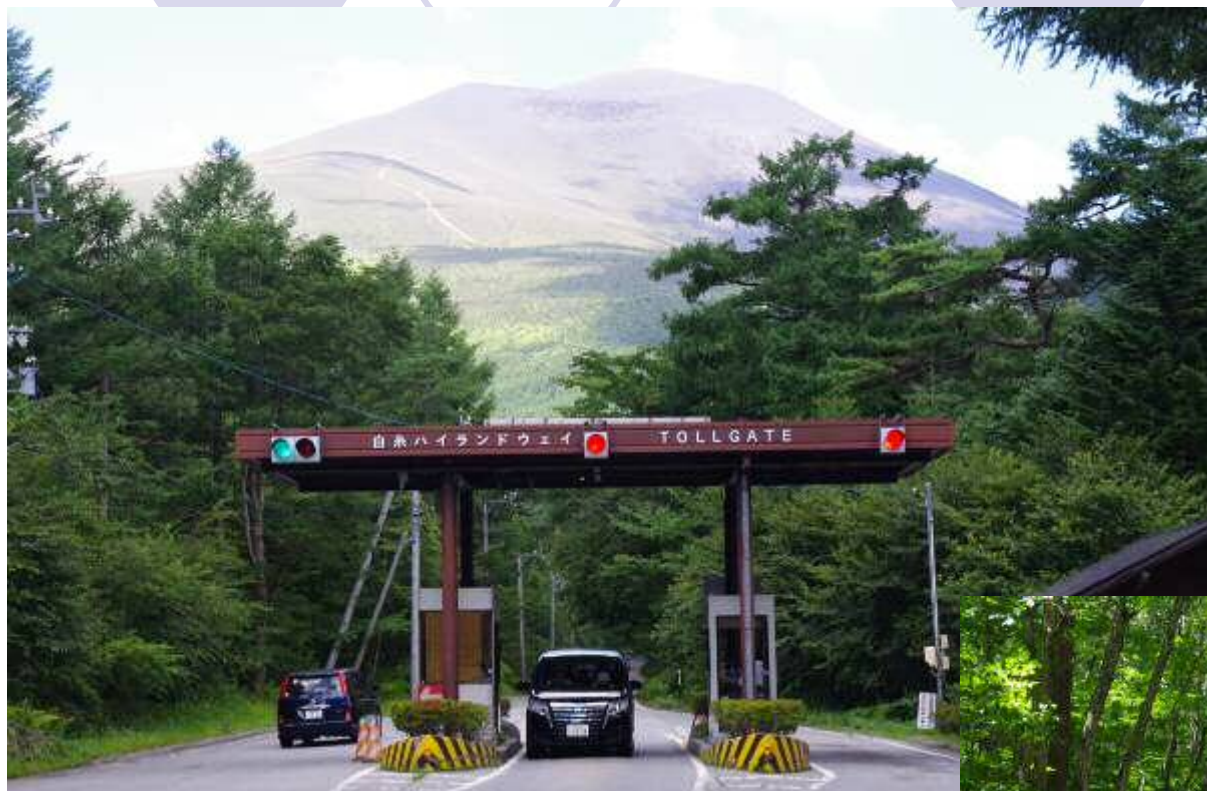
民間有料道路 白糸ハイランドウェイ
ワークショップ
(スマートコミュニティ)の水平展開

平成23年12月～平成26年12月

「スリムJapan」としてのワークショップ支援

- 民間経営の有料道路でも利用者からは公共サービスとしての道路として理解されている。
- インフラの安全性をさらに高めると共に、利用者、利害関係者に「どのようなサービスが提供出来るか」が事業運営の鍵となる。
- 平時から軽井沢町の地元住民、企業や、行政との信頼関係が確保するためにも、観光振興をはじめ軽井沢町全体の集客源の貢献することが重要であり、その実績から既存インフラを基盤としたスマートコミュニティの展開に参画ができる。
- この地域協働作業の効果ある手段として価値のあるワークショップを導入し、実施して行くが重要である。
- そのワークショップのファシリテーター役として「スリムJapan」が参加支援して行く。

観光有料道路であり、アクセス道路でもある
より安全性を高めると共に既存施設の有効活用が期待されている



白糸ハイランドウェイの概要

- ・長野県北佐久郡軽井沢町に位置し、美しい自然に恵まれた標高1000m以上の高原（上信越国立公園）を通り、途中に白糸の滝の名所がある旧軽井沢から 峰の茶屋を結ぶ延長10kmの観光有料道路です。
- ・草津温泉・日光方面への軽井沢からの観光アプローチ道路です。

草津方面



地域協働ワークショップの継続の効果

H.23.12.1第1回白糸ハイランドウェイワークショップ



産官学民(住民+マスメディア)連携+「スリムJapan」の参加



地域各イベントに向けてのワークショップの支援

始めることには
必ず対立がある

目的をしっかり理解すれば
お互いの妙案が生まれる

ワークショップの効果で
相互理解と合意形成



軽井沢町役場と、町の各イベント委員会、観光協会、そして住民と
FMラジオ局も参加して、活発なブレインストーミング
(ファシリテーターとしての役割)

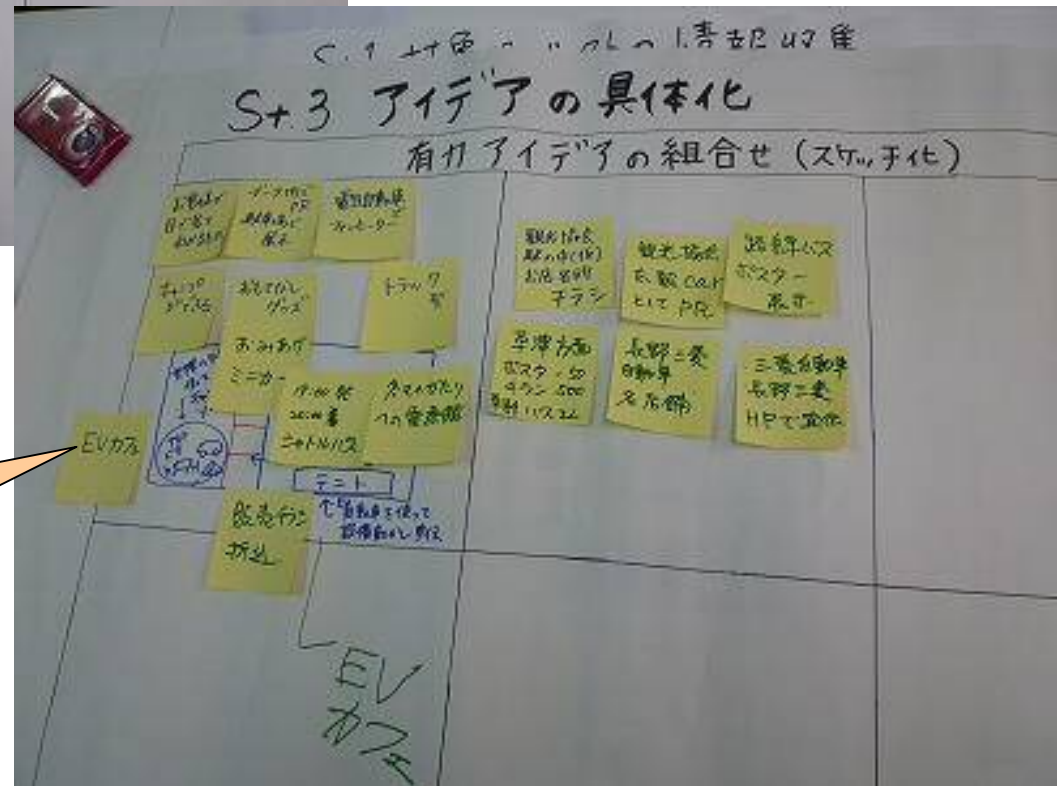


ワークショップから
多くのアイデアを
具体化する(合意形成に)

白糸の滝
チーム



矢ヶ崎公園チーム



白糸の滝ライトアップ（マスメディアの効果）

プロジェクションマッピングを駆使し幻想的な夜の軽井沢を演出



2012年、2013年、2014年実施

氷柱イルミネーション

日本初?世界初?氷の中で輝くイルミネーション。100%ソーラーエネルギーで運用



2012年、2013年実施 2014年からは電気自動車の活用実施

スマートタウン コミュニティ構想 (エリア図)



スマートタウン コミュニティ構想 (概念図)

